

中津素彦 なかつもとひこ 神道學者、文學博士。明治四十五年五月二十一日東京生れ、昭和六十年十一月二十八日歿（一九二一—八五）。昭和十年國學院大學道義學科倫理科卒。同大教授。國旗・日の丸の會理事、神道京教學會會長を務めた。

著書 「近世日本思想史—直毘靈を中心とする諸論争—上」(小泉祐次共編、昭和十八年八月五日神田書房)、 「平田篤胤翁百年祭記念論文集」(合著・秋田縣世彌高神社奉讃會編、昭和十八年十一月)(日富山房)、 「神武天皇紀元論—紀元節の止しと見方」(合著・日本文化研究會編、昭和二十二年二月二十一日花書房)、 「明治の精神」(合著、昭和四十四年十一月二日明治神宮・明治神宮京教會編刊)、 「皇典講究所草創期の人びと」(合著、昭和五十七年十一月四日國學院大學)等の他、ジエアン・エルズル著「神道—日本の源泉」(中世旭共訳、昭和四十五年六月一日神社本庁)がある。